

吉備津彦神社本殿



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	きびつひこじんじゃほんでん
所在地	岡山市北区一宮
指定年月日	昭和43年4月19日
解説	吉備の中山の東麓に鎮座し、大吉備津彦命を主祭神とする。古くから備前国の一宮として尊崇を受けたが、現在の本殿は、元禄10年(1697)に岡山藩主池田綱政によって再建されたものである。桁行三間、梁間二間、屋根は檜皮葺、流造。周囲に擬宝珠高欄の付いた縁を廻らし、正面に三間の木階を設ける。軒は繁垂木、組物は二手先、斗きょうの間には菊・五七桐紋の彫刻を入れた墓股を置き、蛇腹支輪を廻らす。内部は、前方一間が外陣、奥一間を内陣とし、床を高く張り、神座が設けられている。
アクセス方法	JR備前一宮駅から徒歩5分
公開状況	外観のみ, 駐車場8:00~17:00
設備	
備考	